

1 1 2. ^{ひゅうがみち}日向道—^{みくにとうげごえ}三国峠越

選定箇所：市場～内山（豊後大野市）～三国峠～^{こうづおの}上津小野～^{おのいち}小野市（佐伯市）

概要：豊後国と日向国を結ぶ交通路で、古代の官道に起源をもつと推定されている。中世、薩摩国の島津氏による豊後侵攻や、豊臣秀吉による九州平定にこの道が使用された。明治10年（1877）の西南戦争では官軍と薩摩軍が戦いを繰り広げた。沿道には今も多くの台場が残っており、戦いの激しさを物語る。また、本草学者の^{かくひか}賀来飛霞や俳人の種田山頭火などの紀行文に紹介され、多くの旅人が行き交う道でもあった。三国峠は岡・佐伯・臼杵の三藩の境界に位置するためその名があり、眺望のよい景勝地である。



写真提供：豊後大野市教育委員会